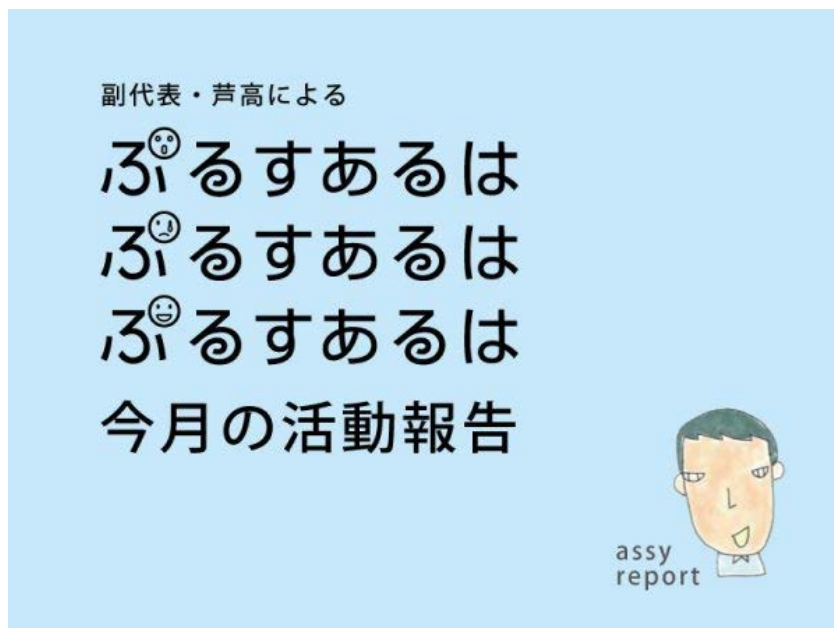


副代表・芦高による今月の活動報告vol.1-12(2015年10月-2016年9月)

ぶるすあるは活動報告 vol.1	1
ぶるすあるは活動報告 vol.2	3
ぶるすあるは活動報告 vol.3	5
ぶるすあるは活動報告 vol.4	7
ぶるすあるは活動報告 vol.5	9
ぶるすあるは活動報告 vol.6	10
ぶるすあるは活動報告 vol.7	12
ぶるすあるは活動報告 vol.8	13
ぶるすあるは活動報告 vol.9	15
ぶるすあるは活動報告 vol.10	16
ぶるすあるは活動報告 vol.11	18
ぶるすあるは活動報告 vol.12	19

* *



ぶるすあるは活動報告 vol.1

2015年10月12日

自己紹介

はじめまして。NPO法人ぶるすあるは副代表の芦高です。

私は、法人設立前のプルスアルハの活動に関わったことがきっかけで、当法人の設立に向けた検討段階から関与し、法人設立と同時に理事 & 副代表に就任しました。私自身は医療や保健分野の専門性は有しておらず、IT・経営コンサル系がバックグラウンドの人間です。現在も別に職を持ちながら、当法人の活動に関わっています。私の当法人における役割は、代表の北野が掲げた当法人のビジョンを具現化するため、主に法人運営や事業計画などの側面から、陰で法人の活動を支えることです。言い換えれば「黒子」なので、あまり表に出ることはありませんが、当コラムでは法人の活動をご紹介します。

ぶるすあるは第1期の振り返り

NPO法人ぶるすあるはの第1期が先月末で終わりました。(ぶるすあるはの決算時期は10月から9月なのです)早いもので法人設立から4ヶ月。今回は第1期の活動の振り返りをしたいと思います。

「子ども情報ステーション」の立ち上げ

法人設立後の最大のヤマ場は、新たな情報 & 応援サイト「子ども情報ステーション」の開設でした。このサイトは、法人設立に動き出す前から立ち上げの計画がスタートしており、代表の北野や制作担当の細尾あきをはじめとし、臨床心理士、養護教諭、小学校教諭、看護師などのプロジェクトメンバーが、1年超に渡って月に一度集まり、議論を重ねてきました。私もこの会議に何度か参加しましたが、(当時は外部の人間として)感心したのは、和気あいあいとした雰囲気の中にも、全員の発言の内容に、ブレることのない共通の軸があったことです。それは「子どものため」「障がいを持った親御さんのため」という共通の強い思い。別にかっこつける訳ではなく、それは当たり前なこととして、真面目に、時には(いや、よく(笑))冗談も交えながら、真剣に議論を重ねた結果、「子ども情報ステーション」は8月にオープンしました。まだまだ情報を充実させて、より良いサイトにしていかなければと、スタッフ一同気を引き締めています。是非是非応援いただければと思います。

》「子ども情報ステーション」はこちら

<https://kidsinfost.net/>

クラウドファンディング

次は何といっても、「子ども情報ステーション」立ち上げのための資金を募るため実施した、クラウドファンディング。最終的に150名の方からご支援をいただき、集まった金額は何と160万円を超える結果に。これは当初目標の2倍以上でした。ご支援いただいた方の人数や金額もさることながら、更に嬉しかったのはご支援いただいた方からの応援メッセージ。こんなにも強く、我々の活動に共感してくれる方々がいらっしやるんだと、それらのメッセージを読んですごく心強く思ったのと同時に、この期待に応えられるように精一杯頑張らなければと、当法人としての強い責任も感じました。

ご支援をいただいた全ての方に、この場を借りて感謝申し上げます。

2期目に向けて

さて、当法人も10月より2期目に突入しています。2期目は「子ども情報ステーション」など1期目に開始した活動を本格展開していくとともに、新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと考えております。

これからも原則として毎月、法人の活動の状況を私の方からお伝えしていきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

*

ぶるすあるは活動報告 vol.2

2015年11月16日

こんにちは。副代表の芦高です。

NPO法人ぶるすあるはの第2期が始まって1ヶ月が過ぎました。

今回は、この1ヶ月間の活動トピックと、この第2期の当法人の重点課題について、普段、表にはあまりあらわれないトピックも含めて、お話します。たくさんの、裏方から法人を支えてくださるみなさんのおかげで、法人を運営しています。本当にありがとうございます。

活動トピック

初めての決算と業務基盤の整備

10月から11月に向け、当法人の監事で税理士の高橋の指南の元、代表のキタノとスタッフのYが中心となり、NPO法人として初めての決算作業を行っておりました。

日々の業務の精緻化・効率化を図るべく、各種業務管理基盤の整備にも着手しております。

まだシステム整備の道半ばではありますが、サポーターの皆さまへの情報提供など、確実なコミュニケーションを図るため、鋭意整備を進めております。なお、当システム利用にあたっての申請や構築には、Kwさんの多大なるご協力がありました。Kwさん、ありがとうございます。引き続きよろしく願いたします。

寄付本プロジェクトの準備

私たちは「心理教育絵本の普及」を法人の事業の1つとしております。普及先としては、小中学校（主に保健室）や保育園等を特に重視しています。それは、私たちが応援したい子どもたちが、ほぼ必ず接点を持つ場所であり、学校の先生方や保育士の先生方は子どもたちに親身になって接していただくと考えているからです。

その普及の方策として、現在「寄付本プロジェクト(仮名)」というプロジェクトを企画しております。これは、当法人を支援して下さる方からの寄付を原資として、絵本を必要として下さる小中学校や保育園等に絵本を献本するというものです。どのような方法がよいのか、現在トライアルを重ね試行錯誤している最中ですが、方法が確定しましたら当サイトにてご報告させていただきます。なお、現在、絵本を献本したい方と、絵本を献本してほしい方の両方を募り、マッチングするような仕組みを検討しておりますが、当コラムをお読みの方の中でいいアイデアがございましたら、ご連絡いただければ幸いです。なお、当プロジェクトの企画にはSさん、Hさんのお力添えがあります。Sさん、Hさん、引き続きよろしくお願いいたします。

嬉しかったこと

この1ヶ月の間に当法人として嬉しいお知らせが2つありました。

1つ目は、キッズパワーサポーターさんが独自に企画して下さり、文京区千駄木の和菓子屋「和菓子薫風」にて、プルスアルハがこれまで制作した絵本や制作物を期間限定(11/25～12/18)で展示いただけることになったことです。題して「ミニミニぶるすあるは図書館」。このようなサポーターさんおひとりおひとりの気持ちが、子どもたちにメッセージを届ける大きな力になっていくのだと思います。お近くにお住まいの方は是非是非お立ち寄りください。

2つ目は、当法人が運営する情報サイト「子ども情報ステーション」～精神障がいをかかえた親とその子どもの応援サイト～に訪れてくださった方が2万人を超えたことです。ありがとうございます！訪れてくださる方のご期待に応えられるように、多くの子どもたちにメッセージを届けられるように、これからもサイトのコンテンツを拡充していきたいと考えております。なお、こちらはKvさんのご協力なしには語れません。Kvさん、今後ともよろしくお祈いします。



第2期の重点課題

第2期も早いもので既に1ヶ月半が過ぎました。

今期は、当法人が末永く活動を続けていけるよう、その礎を作るための重要な期と位置付けております。前述の「子ども情報ステーション」をしっかりと運営していくことは勿論ですが、その運営を永続的なものとするためにも、2つの課題を今期の重点課題として置いております。

1つ目は収入の安定化です。

「子ども情報ステーション」の立ち上げは、クラウドファンディングで大きなご支援をいただき、スタートを切ることができました。ありがとうございます。

営利サイトではないため、運営費用(システム維持、コンテンツ制作、スタッフ人件費等)は、皆さまのご寄付や、当法人の収益事業からの収入によってまかなっていきます。

これからの安定した団体運営にはまだまだほど遠い状況であり、よって今期は、ご寄付を少しでもいただけるよう、サイトの運営やその他の活動に真摯に取り組んでいくことと、当法人の事業目的に合致した新たな事業収益基盤を確立することが大きな課題です。

2つ目は業務管理基盤の確立です。

具体的には前述のサポーター管理基盤の整備や会計管理基盤の整備があたります。こちらはあまり表に出るものではありませんが、ご支援くださる皆さまのご期待や信頼に応えるため、すごく重要なものと考えております。

長くなってしまいましたが、お読みいただきありがとうございます。今後ともふるすあるはをよろしくお祈いいたします。

*

ぶるすあるは活動報告 vol.3

2015年12月14日

こんにちは。副代表の芦高です。

今年もあと2週間あまりで終わりですね。今年のちょうどこの頃は、NPO法人を設立してどのような活動をするのか、どのような体制とするのか、などなどをメンバーで検討していたのを思い出します。

ところで、私はかなりの寒がりなので、この時期は全身ヒートテックを身にまとっているのですが、この話をぶるすあるはのメンバーと話したところ、自分は「触覚過敏」なのではないかと気付かされました。私は子どもの頃から、身に付けるもので肌にチクチクするものがすごく苦手で、特に首回りが異様に過敏なので、タートルネックなどは極力着たくないと思っていました。30年以上色々工夫したり我慢しながら生きてきましたが、実は「触覚過敏」だったのかもしれない…。一方で、ヒートテックは肌に自然にフィットする素材なので、違和感が全くなく着れます。また、Vネックがあるので、首回りも気にならずに着ることができます。別にユニクロの宣伝をする訳ではありませんが、“Vネックのヒートテック”おすすめです。

前置きが長くなってしまいましたが、この1ヶ月の活動トピックについて、簡単にではありますが以下の通りご報告いたします。

活動トピック

「子ども情報ステーション」の訪問者数が3万人を突破！

ぶるすあるはの情報サイト「子ども情報ステーション」のご訪問者数が、サイト開設から3ヶ月余りで3万人を突破いたしました。

絵本だけでは届けられなかった多くの人にメッセージを届けたい、という思いから開設したサイトなので、この状況はとてもうれしく思っています。ご訪問いただいた方が、どこからアクセスされているのかを分析すると、ぶるすあるはのFacebookやTwitterに次いで、Googleの検索結果からアクセスされている方が多いようです。特に精神障がいの病名の検索結果からのアクセスが多いのですが、病名での検索をされる方は病気について何らかの悩みなどをお持ちだと思いますので、「子ども情報ステーション」が少しでも悩みを解決する一助になっていければいいなと思います。

》「子ども情報ステーション」はこちら

<https://kidsinfost.net/>

ぶるすあるはオリジナルツールの制作

ご存知の方も多いかと思いますが、「子ども情報ステーション」には『ぶるす工房』という、日々の工夫や相談に使える素材集、プルスアルハの絵本の解説、サイト内のページをまとめたシート、手づくりワークキットなどをPDFでダウンロードできるページがあります。

このページに、新たに「アルハのハッピー豆本」がアップされました。



個人的にも好きなツールなので、紹介させていただきます。「アルハのハッピー豆本」は、仕事や勉強、子育てなどで疲れていたり、イライラしたり、煮詰まっていたりする時に、少しほっとできること(好きなテレビをみる、マンガをよむ、etc.)を集めたミニミニ本です。PDFを紙に印刷して、定規とカッターとホッチキスで簡単に作れます。完成すると数センチの大きさになるので、財布や定期入れなどに入れて携帯できます。こころの充電が必要な時に眺めたり、頑張っている人への贈り物としてご利用ください。『ふるす工房』では他にも色々なツール・素材を掲載していますので、是非ご覧ください。

》『ふるす工房』はこちら

<https://kidsinfost.net/atelier/>

「子ども情報ステーション」のアップデート予定

「子ども情報ステーション」は、現在制作途中のページや新規コンテンツを1月中旬に集中アップデート予定です。是非ご期待ください。

※「子ども情報ステーション」はみなさまのご支援(寄付)で運営しています。もしご支援いただけるようであれば、「支援・参加する」のページをご覧ください。

この1ヶ月は他にも、新たな事業展開・収益安定化の検討や、より多くのサポーターさんや「子ども情報ステーション」ユーザーの皆さまに対し、より多くの情報を発信し接点を作れるような施策の検討を進めていました。検討内容が具体化した段階で、順次ご報告させていただければと思います。

お読みいただきありがとうございました。

*

ふるすあるは活動報告 vol.4

2016年1月24日

こんにちは。副代表の芦高です。

2016年、今年もよろしくお願いいたします。
今回は年末からこれまでの活動状況についてご報告させていただきます。

活動トピック

「子ども情報ステーション」の訪問者数が4万人を突破！

「子ども情報ステーション」を訪れた人がより見やすく、目的とするページにより到達しやすいように、TOPページのレイアウトを更新しました。また、制作中だったページ（「中高生のみなさんへ」「発達障害」「知的障害」など）の公開も行いました。

そして、前回のご報告でサイトを訪れていただいた方が3万人に達したと書かせていただきましたが、それから1ヶ月足らずで4万人に到達しました。

さらに、新たなページの制作も進んでいます。これからもより多くの方に、必要な情報、メッセージが届くように、サイトの運営に取り組んでいきます。

【1月のページ別アクセス数(1/23時点)】

- No.1: 発達障害[はったつしょうがい]
- No.2: 精神科の受診を考えている方へ
- No.3: みんなの感覚過敏 たくさん集まりました
- No.4: プルスアルハのこころの絵本とカード
- No.5: 高次機能障害[こうじきのうしょうがい]

》「子ども情報ステーション」はこちら

<https://kidsinfost.net/>

「支援・参加する」ページをリニューアルしました

リニューアルしたことの1つとして、「キッズパワーサポーター」を氏名とメールアドレスのみでもご登録いただけるよう変更しました。

「キッズパワーサポーター」とは頑張っている子どもたちの力を信じ応援する仲間のことです。私たちはこの“仲間”を積極的に増やしていきたいと考えていて、今年度中の500人到達を目標としています（現在350人程度）。「キッズパワーサポーター」にご登録いただいた方には、可能な範囲で以下の活動を通し、子ども支援を拡げる私たちの活動にご参加いただきたいと思います。

01. チラシを拡げる
02. 絵本を拡げる
03. SNSで拡散する
04. リンクやバナーを貼る
05. 絵本や冊子を買って読む
06. 朗読会などで絵本を読む

おかげさまで法人設立以降、ご登録いただける方はどんどん増えていて、活動の拡がりを実感しています。ご登録いただいた方には、メルマガ（アルハ通信社だより）やSNSを通して、これまで以上に活動情報を配信していけるように運営していく予定です。

》「キッズパワーサポーター」登録はこちら

<https://pulusualuha.or.jp/support/>

外資系金融機関のUBSさんのセッションに参加してきました

このセッションはSVP TokyoとUBSさんが主催するもので、NPO等の社会事業団体の活動課題(事業運営における課題)について、UBS社員の方と団体側がディスカッションし、解決の方向性を見出していくものです。なかなか厳しいご意見もいただきましたが(^_^;)、足元を見つめなおして今後の事業運営を再検討するよい機会になりました。

なお、ぷるすあるはのコンテンツ(イラスト)は参加者に強烈なインパクトを与えられたようで、参加者の1人がおっしゃった「もしこのイラストが駅にあったら必ず目がいってしまう」という一言は、印象深く嬉しい一言でした。



「絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト」実施予定です

「あるは通信」の「2016年の活動予定と目標値」でも触れましたが、プルスアルハの絵本を小中学校の保健室に届けるプロジェクトを実施します。

このプロジェクトは、子どもたちが毎日通う「学校」の保健室に絵本を届けることで、主に保健室の先生(養護教諭)を介して、子どもたちにぷるすあるはのメッセージを届けることを目的としています。

ぷるすあるはがただ単純に絵本を学校に送り届けるのではなく、「絵本を届けたいという思いを持った人」が、母校やお子さんが通っている学校など「届けたい学校」に、その「思い」とともに「絵本」を届けるプロジェクトです。ぷるすあるはは、「思い」と「絵本」を届けるためのプラットフォーム(仲介役)となります。

なぜそのような形を採るのかというと、絵本を届ける方の「思い」が、学校の先生の「思い」を生み、その「思い」が子どもたちにメッセージを届ける強い力になると考えるからです。なお、絵本代・発送費などのプロジェクト運営費用は、プロジェクトにご参加いただける方のご寄付により賄わせていただきます。

エントリー開始は1/29(金)からこのサイトで受け付けさせていただきます。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

お読みいただきありがとうございました。

*

ふるすあるは活動報告 vol.5

2016年2月16日

こんにちは。副代表の芦高です。

近頃は急に暖かくなったり、また寒くなったり、落ち着かない日々が続いていますが、みなさま体調崩されないようご自愛ください。

今回は1~2月の主な活動状況についてご報告させていただきます。

活動トピック

リリー賞を受賞しました

NPO法人地域精神保健福祉機構(コンボ)が主催し、日本イーライリリーが協賛する、精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)の支援者部門をついに受賞しました!三度目の正直での受賞です!去年から始めた情報&応援サイト「子ども情報ステーション」の運営など、新たな取り組みが評価されたのだと思います。

この賞をいただいたことを励みかつ弾みにして、これからも活動に取り組んでいきたいと思えます。

》プレスリリース(PDF)

<https://news.lilly.co.jp/>

「絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト」実施中です(~2/22)

1/29から開始した「絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト」のエントリー期間が残り1週間となりました。おかげさまで、60冊をこえるエントリーを頂いております。

このプロジェクトは、子どもたちが毎日通う「学校」の保健室に絵本を届けることで、主に保健室の先生(養護教諭)を介して、子どもたちにふるすあるはのメッセージを届けることを目的としています。

具体的には、保健室の先生に以下のようにお使いいただくことを想定しています。

- ①子どもの気持ち感じ方を知る
- ②子どもへの声かけの具体的方法を知る
- ③他の先生と子どもの理解を共有する
- ④子どもと一緒に読む
- ⑤先生や子どもが自分のペースで読める場所に置く など

「周りに気になる家族、子どもがいる」という方や、「自分が普通っていた学校に送りたい」という方は、是非ご支援いただけますと幸いです。

》プロジェクトページ

<https://pulusualuha.or.jp/activity/skyproject/>

「子ども情報ステーション」の訪問者数が5万人を突破!

サイトに訪問していただいた方が5万人に到達しました。1ヶ月に1万人のペースで増えています。特にこの1ヶ月は、1月にオープンした「中高生のみなさんへ」にも多くの方がアクセスされています。子どもたちにダイレクトにメッセージが届けられることが、サイトの1つの特長でもあるので、すごく励みになります。これからもより多くの方に、必要な情報、メッセージが届くように、サイトの運営に取り組んでいきます。

直近1ヶ月のページ別アクセス数(2/13時点)

No.1:精神科の受診を考えている方へ

No.2:発達障害[はったつしょうがい]

No.3: 友人が薬物(覚醒剤etc)を使ってるかも...というときにあなたにできること

No.4: プルスアルハのこころの絵本とカード

No.5: 中高生のみなさんへ

》子ども情報ステーション

<https://kidsinfost.net/>

*

ぷるすあるは活動報告 vol.6

2016年3月23日

こんにちは。副代表の芦高です。

近頃、病院で処方された花粉症の薬が効かなくなっており、猛烈に苦しんでいます。

花粉症シーズンが終わったら今年こそ「舌下免疫療法」にチャレンジしようと誓っている今日この頃です。

それでは直近の活動状況についてご報告させていただきます。

活動トピック

ぷるすあるはのスタッフ紹介

今回冒頭は、ぷるすあるはの縁の下の力持ち、パートスタッフのゆうこさんについてご紹介させていただきたいと思います。

ぷるすあるはの活動スタッフとして、代表の北野陽子と制作を担当する細尾ちあきは、ご存知の方も多いかと思いますが、彼女たちの活動になくてはならない存在が、ゆうこさんです。

主に経理事務や物品の発送業務などを担ってもらっています。

すごく細かいところにも心配りができるので、事務的な作業があまり得意とは言えない(?)北野・細尾は大変助かっています。事務所の掃除・かたづけもこまめにしてくれるので、以前は画材などで多少雑然としていた事務所も、今ではいつも整理整頓されすっきりとしています。

新しいサイトを開設したり、絵本を出版したり、賞をいただいたり、精力的に活動できているのも、ゆうこさんあってのことです。感謝感謝。



「絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト」ありがとうございました
無事目標を達成することができ、110冊の絵本を全国の保健室に届けることができました。ご参加いただいた方、応援していただいた方、誠にありがとうございました！



反省すべき点もありましたが、改善すべき点は改善し、この仕組みを子どもたちにメッセージを届ける手段としてこれからも推進していきたいと考えています。今後は期間限定のプロジェクトベースではなく、いつでも利用できる仕組みとすることを検討しています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

「子ども情報ステーション」をリニューアル！訪問者数が6万人を突破！

サイトに訪問していただいた方が6万人に到達しました。7万人も目前です。

最近「発達障害」に関するページをご覧いただいている方が多いようです。引き続き皆さまにとって有益な情報をお届けできるよう取り組んでいきます。

》子ども情報ステーション

<https://kidsinfost.net/>

直近1ヶ月のページ別アクセス数(3/21時点)

No.1:発達障害[はったつしょうがい]

No.2:精神科の受診を考えている方へ

No.3:子どもの気持ちを知る絵本③『発達凸凹なボクの世界-感覚過敏を探検する』

No.4:精神疾患[せいしんしっかん]Q&A

No.5:ふるす工房

ふるす工房の動画ができました。是非ご覧ください。

https://youtu.be/_TeRrd9ssQM

お読みいただきありがとうございました。

*

ふるすあるは活動報告 vol.7

2016年4月21日

副代表の芦高です。

熊本地震により被災された方、またそのご家族ご友人の方々は、不安な日々をお過ごしかと思います。被災地が一日も早く復興し、元の平穏な日々が戻ることを心から願っております。

季節はもう春。私はこの時期の気候が一番好きです。毎年気付いたらあっという間に梅雨の季節ですが、穏やかなこの時期を大切に過ごしていければと思います。それでは3-4月の活動状況についてご報告させていただきます。

活動トピック

話していいよを伝える絵本「ボクは話せない…」が話題に！

埼玉県中央児童相談所の協力で、話していいよを伝える絵本「ボクは話せない…」を作成しました。3月、埼玉県版はさいたま市を除く県内の小中学校と関係機関へと届けられました。

虐待を受けるなど長期間ひとりで我慢している子どもたちに向け、話してもいいよ、真剣に考えてくれる大人がいるよということ届けられたら、という想いで作った絵本です。

発行から、取材や問い合わせが続いています！！

個人の方の購入(先着200冊です)やオリジナル版の作成も承っております。

》絵本の詳細・注文のページへ

<https://kidsinfost.net/shop/book/>

LINEスタンプ・第2弾「きもちいろいろバージョン」・制作中

細尾あき制作のLINEスタンプ第1弾『アルハの日常生活編』が完成し、LINEストアで販売中(¥240)です。ちょっと言いにくいけど伝えたいこと、ピンチに陥ったとき、アルハ(「子ども情報ステーション」のナビゲーターキャラクター)がゆるりとお伝えします。ご自分用、お知り合いへのプレゼント用に是非ご利用いただければと思います。現在、第2弾も制作中ですのでお楽しみに。→→絵本やカードでも好評いただいている、ハルのきもちいろいろバージョン、です。

》LINEストアへ

<https://store.line.me/stickershop/product/1248800/ja>

「子ども情報ステーション」の訪問者数が8万人を突破

サイトに訪問していただいた方が8万人に到達しました。訪問者数増加のペースも上がってきています。1ヶ月に1万5千人くらいの方にお越しいただいています。引き続き皆さまにとって有益な情報をお届けできるよう取り組んでいきます。

※直近1ヶ月のページ別アクセス(PV)数(4/21時点)

No.1:発達障害 ←不動の1位

No.2:精神科の受診を考えている方へ

No.3:高次脳機能障害

No.4:精神疾患Q&A

No.5:ギャンブル依存症 ←NEW

》精神障がいや発達障がい、こころの不調をかかえた親とその子どもの応援サイト『子ども情報ステーション』へ

<https://kidsinfost.net/>

お読みいただきありがとうございました。

*

ぷるすあるは活動報告 vol.8

2016年5月21日

副代表の芦高です。

ゴールデンウィークはどのように過ごされましたでしょうか？私は実家の方(西の方)に帰り、子供の相手も親に譲って久しぶりにのんびりしていましたが、それも東の間、また慌ただしい毎日を過ごしています。

それでは、4～5月の活動状況についてご報告させていただきます。

活動トピック

いよいよ1周年！

ぷるすあるはは、2016年6月1日、おかげさまで法人設立1周年を迎えます。ここまでやってこれたのも、私たちの活動に対する皆さまの応援の声があったからこそ。そこで、日頃応援してくださる皆さまへの感謝の気持ちを込めて、1周年記念イベントを開催いたします。

メインイベントとして、6/28(火)～7/3(日)の間『子どものきもち・絵本原画展』と題し、東京谷中のカフェ&ギャラリーで、絵本の原画を中心に活動のいろいろを展示します。ぷるすあるはとして初めてのギャラリー展示です。

是非お足運びいただければと思います。

子どもの原画

》ぶるすあるは1周年感謝ギャラリーのページへ

<https://pulusualuha.or.jp/2016/05/19/gallery/>

絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト第2弾を実施します！

今年1月から2月にかけて実施した第1弾では、110冊の絵本を保健室に届けることができました。決して多い数字とは思いませんが、110冊分は確実に私達が伝えたいメッセージを広めることができたのではないかと考えております。

その後養護教諭の先生を対象に行ったアンケートでも、「学校の中で共有したい」「他の絵本も読んでみる」などのお言葉もいただけたことから、6月に第2弾のプロジェクトを実施します。

第1弾では「うつ病編」の絵本が対象でしたが、第2弾では「統合失調症編」を対象とします。一般的には「うつ病」に比べ、まだまだ認知がされていない症状かと思えます。是非ご参加いただければ嬉しいです。

》保健室あんしんプロジェクトの今年度の予定

<https://pulusualuha.or.jp/2016/05/03/skyproject-2/>

「子ども情報ステーション」の訪問者数が10万人を突破！

サイトに訪問していただいた方が10万人を突破しました。開設から1年も経たず、これだけの数の方にこのサイトの存在を知っていただけたのは、本当にありがたいです。でも、私たちがやりたいのは、サイトに訪れていただくだけではなく、訪れた方に伝えたいメッセージを届けること。それが本当にできているのか、もっとより良い情報を伝えるためにはどうすればいいのか、それを確認するため、近日中にWEBアンケートを実施させていただきます。素敵なお礼のプレゼントも準備しておりますので、是非ご協力いただけますと幸いです。

※直近1ヶ月のページ別アクセス(PV)数(5/19時点)

No.1: 高次脳機能障害 ←新規追加した症状を伝えるカードとページがバズりました！

No.2: 発達障害

No.3: 精神科の受診を考えている方へ

No.4: スクールソーシャルワーカーって？

No.5: 精神疾患Q&A

》精神障がいや発達障がい、こころの不調をかかえた親とその子どもの応援サイト『子ども情報ステーション』へ

<https://kidsinfost.net/>

お読みいただきありがとうございました。

*

ぶるすあるは活動報告 vol.9

2016年6月22日

副代表の芦高です。

昨年6月にNPO法人を設立してから丸1年が過ぎました。
今回はこの1年間の振り返りと、5～6月の活動状況についてご報告させていただきたいと思います。

活動トピック

1年間の振り返り

昨年6月1日に法人を設立してからついに1年が経過しました。あっという間の1年間だった気がします
が、この1年間でホップ・ステップ・ジャンプのホップは越えることができたかなと感じています。

この1年間の出来事を振り返ってみると、情報サイト開設のためのクラウドファンディングから始まり、
ここでご支援いただいた資金で情報サイト「子ども情報ステーション」を開設しました。このサイトは私達の
活動に大きな広がりをもたらしました。およそ15万人の方にサイトにアクセスしていただき、伝えたかっ
たことをより多くの人に伝えることができるようになりました。伝えっぱなしになっていないか不安な面も
ありましたが、先日から実施しているアンケートで、多くのご評価・ご感想をいただき、やっていることは
間違っていないという実感を持つことができました。

また、絵本制作等の法人設立前からの活動に加えて、サイト運営の活動をご評価いただき、いろいろな
賞や助成金をいただけたり、新聞・ラジオ・テレビなどのメディアでも多く取り上げていただきました。「絵
本で届ける保健室あんしんプロジェクト」第1弾は、総冊数110冊という一定の結果を出すことができました。
キッズパワーサポーターにも500人を超える方に登録いただきました。

このように書くと順風満帆のようにも見えますが、ホップ・ステップ・ジャンプのジャンプに向けて、課題は
まだまだ山積しています。特に、今後活動を安定的に維持継続していくための「資金面」は大きな課題
です。情報サイト「子ども情報ステーション」には多くの方がアクセスいただいています。このサイトは
無償のサイトであるため、サイト運営資金には寄付金や事業収益を充てる必要があります。しかし、現
状はサイト運営を維持継続するために十分な資金を得ることはできていません。

既に始まったこの2年目は、1年目に一定の成果を出せた活動をより発展させていくことに加え、活動の
維持継続のための安定的な資金確保を、ジャンプに向けて重要なステップとして取り組んでいきたいと
考えております。

これからも応援よろしく願いいたします。

絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト第2弾のエントリーを受付中です

プロジェクト第2弾は、特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ、親&子どものサポートを
考える会の後援をいただき、6/17(金)からエントリー受付を開始しました。終了は7/26(火)の予定で
す。

今回のテーマ「統合失調症」はまだまだ認知度が低いと思います。学校の先生方にまずは知っても
らい、子どもの気持ちを少しでも理解していただき寄り添っていただけるよう、是非エントリーいただけれ
ばと思います。

》保健室あんしんプロジェクトのエントリーページ

<https://pulusualuha.or.jp/activity/picturebooksproject/>

「子ども情報ステーション」の訪問者数が14万人を超えました

今月は「小学生のみなさんへ」が初めてアクセス数トップになりました。現在実施中のWEBアンケートでも「役に立った/興味を持ったコンテンツ」のtop3になっている、多くの方に読んでシェアしていただきたいページです。

※直近1ヶ月のページ別アクセス(PV)数(6/21時点)

No.1:小学生のみなさんへ

No.2:発達障害

No.3:精神科の受診を考えている方へ

No.4:精神疾患Q&A

No.5:高次機能障害

》精神障がいや発達障がい、こころの不調をかかえた親とその子どもの応援サイト『子ども情報ステーション』へ

<https://kidsinfost.net/>

お読みいただきありがとうございました。

*

ふるすあるは活動報告 vol.10

2016年7月26日

副代表の芦高です。

今回は、6～7月の活動状況についてご報告させていただきたいと思います。

活動トピック

「子どものきもち絵本原画展」とトークイベントが盛況に終わりました

6/28～7/3にふるすあるは1周年を記念して開催した絵本原画展とトークイベントは、延べ312人の方にご来場いただき、無事盛況に終わりました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



ギャラリーでは私も半日ほど店番をしていましたが、思っていた以上に多くの方がご来場され、誰もいない時間がないほどでした。

お気に入りのイラストの前でお子さんの写真を撮っている方や、真剣に原画や絵本を眺めている方を見て、ぷるすあるはの“ファン”になっていただいている方がこんなにいるんだなど改めて感じました。それと同時に、ぷるすあるははこれからも、絵本やイラストを通して、多くの方にメッセージを届けていけるという思いを強くしました。

また、多くの方に絵本やカードなどを購入いただきました。特に一般では販売していない「話していいよを伝える絵本『ボクは話せない...』」は、多くの方が購入していかれたように感じました。ご購入いただいた皆さまありがとうございました。

※「話していいよを伝える絵本『ボクは話せない...』」はこちらから注文いただけます

次回はいつになるか分かりませんが、また同じようにぷるすあるはの世界観に直接触れていただける機会が作れればよいなと思っています。



絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト第2弾のエントリーを受付中です(～7/27水)
7/25(月)時点で73冊のエントリーをいただいています。
7/27(水)で受付終了となりますので、まだの方は是非エントリーをお願いできればと思います。

》保健室あんしんプロジェクトのエントリーページ
<https://pulusualuha.or.jp/activity/picturebooksproject/>

なお、11月には第3弾「アルコール依存症編」を予定しています。

「子ども情報ステーション」の訪問者数が17万人を超えました
先月訪問者数(ユニークユーザー)が14万人を超えましたが、1か月余りで一気に17万人に増えました。

※直近1ヶ月のページ別アクセス(PV)数(7/24時点)

- No.1: 発達障害
- No.2: 精神科の受診を考えている方へ
- No.3: 精神疾患Q&A
- No.4: 高次脳機能障害
- No.5: 知的障害

》精神障がいや発達障がい、こころの不調をかかえた親とその子どもの応援サイト『子ども情報ステーション』へ
<https://kidsinfost.net/>

お読みいただきありがとうございました。

*

ふるすあるは活動報告 vol.11

2016年8月21日

副代表の芦高です。
今回は、7～8月の活動状況についてご報告させていただきたいと思います。

活動トピック

絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト第2弾の発送作業が完了しました
今回のプロジェクト「統合失調症編」では77冊分のエントリーをいただきました。エントリーをいただいた皆さまありがとうございます。
7月の末に事務所にて梱包・発送作業を行い、ふるすあるはからの3冊を加えた80冊分の発送を完了いたしました。
次回は11月実施予定の「アルコール依存症編」となります。

「子ども情報ステーションのご利用アンケート」の集計が完了しました

5月末から行っていたアンケートの受け付けを終了しました。111名の方からご回答をいただき、集計した結果を「子ども情報ステーション」のコラムにアップしております。

》アンケート集計結果のページ

<https://kidsinfost.net/2016/08/11/questionnaire/>

自由記述欄で、サイトや絵本に対するご感想、ご要望も多数いただけており、これまでの活動内容の検証、今後の活動計画に役立てていけそうです。

ご回答いただいた皆さま誠にありがとうございました！

「子ども情報ステーション」の訪問者数が18万人を超えました

訪問者数(ユニークユーザー)が18万人を超え、19万人が目前です！

新コーナー「病気と子育て子どもの生活―声をきいてください」もアップされました。

》新コーナー「病気と子育て子どもの生活―声をきいてください」

<https://kidsinfost.net/column/voices/>

※直近1ヶ月のページ別アクセス(PV)数(8/21時点)

No.1:発達障害

No.2:精神科の受診を考えている方へ

No.3:精神疾患Q&A

No.4:知的障害

No.5:高次脳機能障害

》精神障がいや発達障がい、こころの不調をかかえた親とその子どもの応援サイト『子ども情報ステーション』へ

<https://kidsinfost.net/>

最後までお読みいただきありがとうございました！

*

ふるすあるは活動報告 vol.12

2016年9月22日

副代表の芦高です。

今期も残すところあとわずか。最近レポートの内容がマンネリ化しているなど感じているので、今回からはより自分目線で感じたことを盛り込んでいければと思います。

活動トピック

イベント「チアキの感覚過敏を探検」を開催して

休日の夜、かつ比較的マイナーなテーマでしたが、7名＋お子様2名の計9名の方にご参加いただき開催いたしました。私もイベントスタッフという役割を担いつつ、1参加者として参加しました。

少人数ではありましたが、それが逆にアットホームな雰囲気を作って、いい会になったなと思います。



イベントは北野とチアキの掛け合いによる、チアキの子ども時代を中心とした感覚過敏体験の紹介から入りましたが、どこかの女性漫才師かと思わせるような話しぶりで、人によってはなかなかきつい体験にも関わらず、そういうことを感じさせず、いろいろな工夫で状況を乗り越えた話に、みなさん引き込まれていたように感じます。(余談ですが、ハライチという漫才コンビのネタ進行(1人がお題を振って1人が乗ってボケる)に似ています^^;)

その後、参加者のみなさんや周りの方の感覚過敏体験をシェアいただきましたが、私にとっては初めて聞くような話もあって、人それぞれいろんな感覚過敏があるんだなと感じました。

感覚過敏は、大人になってしまえば自分なりの工夫や割り切りでうまく付き合っていけるものだと思いますが、子どもにとっては周りの理解が得られなければ、すごく辛い体験になってしまう可能性があると思います。学校の先生など、普段子どもと接している方には、是非いろんな感覚過敏があることを知っていただき、それを無理に克服させようとするのではなく、1つの個性として捉え、子どもたちがうまく生活していけるサポートをしてもらえればと思います。

最後に、イベントの開催後、参加者の方から事務局の方にメールで温かいメッセージをいただきました。ぷるすあるはは、普段WEBや絵本など非対面の媒体を通じて情報を発信している団体ですが、非対面の情報発信で作られた輪が、今回のようなイベントを通してより色濃いものになっていくことを感じましたので、これからも機を見てイベントを開催できればと思います。

「子ども情報ステーション」の訪問者数が21万人を超えました
※直近1ヶ月のページ別アクセス(PV)数(9/21時点)

- No.1: 発達障害
- No.2: 精神科の受診を考えている方へ
- No.3: 精神疾患Q&A
- No.4: 高次脳機能障害
- No.5: ぷるす工房

》精神障がいや発達障がい、こころの不調をかかえた親とその子どもの応援サイト『子ども情報ステーション』へ

<https://kidsinfost.net/>

お読みいただきありがとうございました。